

年度のはじめに

2023-2024 年度大久保博之ガバナーの指名により、引き続きロータリー財団総括委員長を仰せつかりました。皆様のクラブの奉仕活動が円滑に行われますよう、また大久保ガバナーの目標を達成できるよう、そしてゴードン RI 会長のイニシアチブに応えられるよう、財団委員会一同、縁の下からバックアップさせていただき所存ですので宜しくお願い致します。

さて、今年度の RI 会長ゴードン・マッキナリー氏が掲げたテーマは、**CREATE HOPE in the WORLD**です。メルボルン国際大会に参加した私は、ウクライナのロータリアン達から 2820 地区の支援に対し、あなた方の行動はウクライナ国民に希望を与えてくれたと、感謝状とともに沢山のお礼の言葉を頂きました。



(左が 2232 地区ウクライナのボンダレンコ PDG)

そこで感じたのは、ロータリーが社会問題を全て解決することは不可能ですが、紛争・災害・疾病などの困難に直面し、絶望の中にいる人たちに生きる希望を生み出すことができるということです。

そして、我々 2820 地区は、大久保ガバナーと共に、ウクライナの街が再び彩を取り戻せるように支援することを約束してまいりました。

大久保ガバナーのウクライナ支援の柱は、女子のエンパワーメントと紛争で被災した子どもたちのメンタルヘルスです。それを実現するためにも地区内会員の皆様のご支援をお願い申し上げます。

地球上に暮らす全ての人々が、平和な世界で、それぞれの人生を楽しんでいる日々を想像しながら、財団委員会ができることを実践し積極的平和に取り組んでまいりたいと思います。そうしたロータリーの奉仕活動に参加することが、人生の楽しみの一つとして数えることができるのがロータリアンなのではないでしょうか。



(女子のエンパワーメントプロジェクト)

新たな手続き要覧に変わって 2 年目となり、ロータリーも、千変万化の様相を呈する中で、大久保ガバナー一年度には、各クラブへのサポートとともに、地区委員会の編成を刷新したガバナンスに対しても多くの期待が寄せられています。そうした状況に鑑み、ロータリー財団委員会としましては、大久保ガバナーの年度方針に呼応し、各クラブの奉仕活動を資金面からバックアップさせていただきます。そして、変化の激しい昨今、ロータリー財団の最新情報を提供して行けるよう、セミナーや出前卓話を実施して行く所存です。

最後になりますが、ロータリーの各分野における奉仕活動は、ある時は社会に貢献しながら、またある時はクラブに貢献しながら、自己達成のために新たな知見や経験を得る研鑽の場になるのだと思います。こうして、奉仕の理念や中核的価値を共有し、自己を高め、生業を発展させ、持続可能な社会の発展のために奉仕されている、地区内会員の皆様方に敬意を表しますとともに、財団委員会へご理解に衷心より感謝申し上げます。



国際ロータリー第 2820 地区
ロータリー財団委員会を代表して
新井和雄